



函館に移住を
お考えの方へ

移住して自分らしい暮らしを。

函館暮らしが이드

HAKODATE LIVING GUIDE

函館市地域交流まちづくりセンター
移住サポートセンター
〒040-0053 函館市末広町4-19
TEL 0138-22-9700 FAX 0138-22-9800
E-mail info@hakomachi.com

ACCESS



飛行機をご利用の場合

東京へ	約 1時間20分
大阪へ	約 1時間40分
名古屋へ	約 1時間30分
札幌へ	約 40分
奥尻へ	約 30分
台湾(台北)へ	約 3時間10分

※市街地(JR函館駅)から空港までバスで20分

JRをご利用の場合

東京へ	約 4時間30分
青森へ	約 1時間30分
札幌へ	約 3時間30分

フェリーをご利用の場合

青森へ	約 3時間40分
大間へ	約 1時間30分

自動車をご利用の場合

札幌へ	約 4時間20分
-----	----------

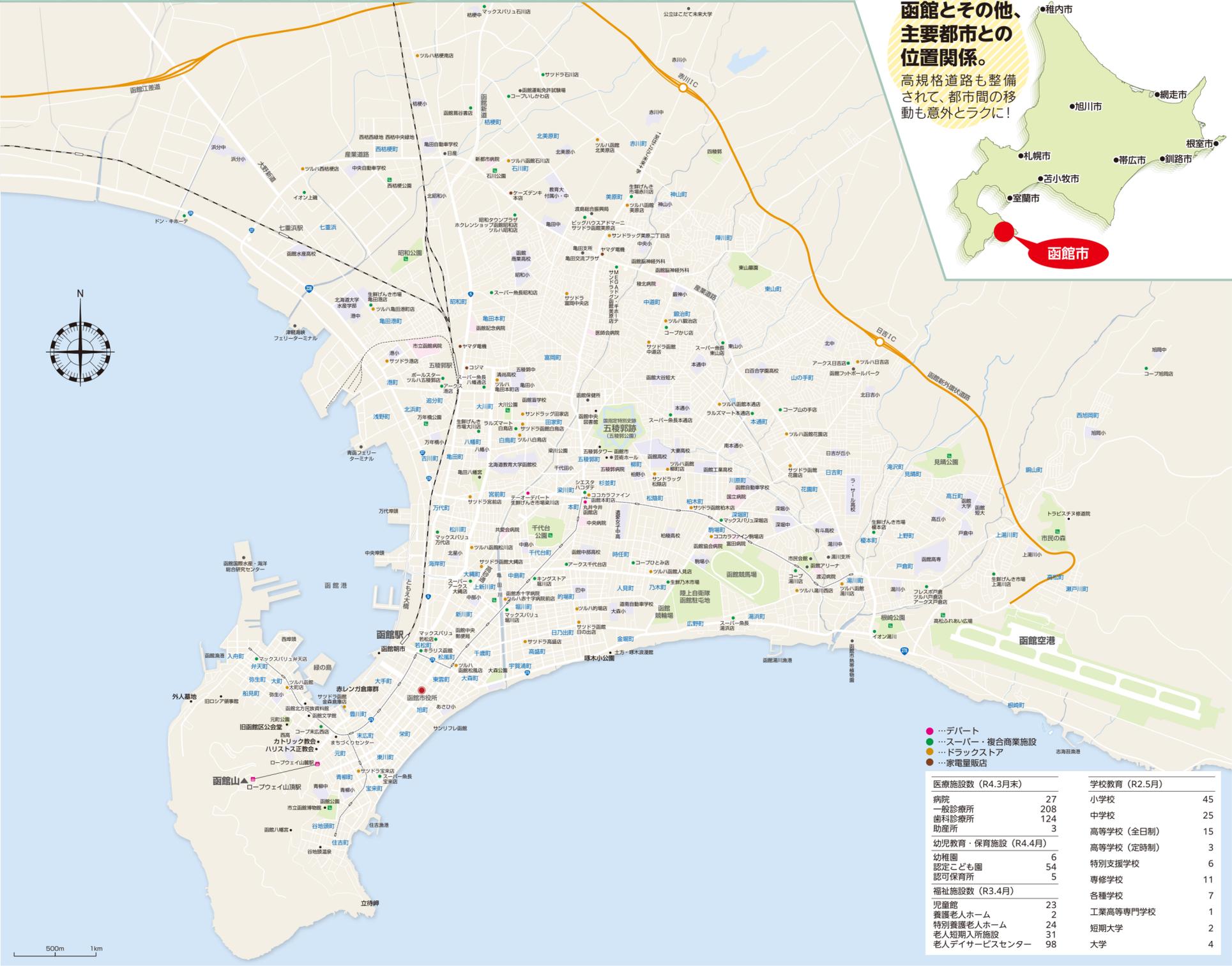
函館暮らしが이드
令和5年3月
編集・発行 函館市・函館市地域交流まちづくりセンター 移住サポートセンター

商業施設

大型の小売店が主要な沿線沿いにあるほか、市内各所には、スーパーマーケット、ドラッグストアやコンビニエンスストアなどが数多くあり、買物に便利です。

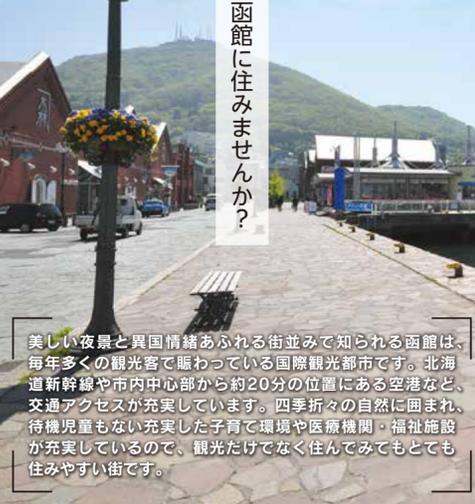
市立病院をはじめとする総合病院のほか、医療機関や福祉施設が、市内の各所にあります。また、年中無休で夜間診療に対応する夜間急病センターなど、24時間体制の救急診療も行っておりますので、安心です。

医療施設 福祉施設



函館とその他、 主要都市との 位置関係。

高規格道路も整備
されて、都市間の移
動も意外とラクに!



函館に住みませんか?

美しい夜景と異国情緒あふれる街並みで知られる函館は、毎年多くの観光客で賑わっている国際観光都市です。北海道新幹線や市内中心部から約20分の位置にある空港など、交通アクセスが充実しています。四季折々の自然に囲まれ、待機児童もない充実した子育て環境や医療機関・福祉施設が充実しているので、観光だけでなく住んでみてもとても住みやすい街です。

●街の中に温泉がある



市街地から車で15分の場所にある北海道有数の温泉地「湯の川温泉」をはじめ、日帰り温泉などが市内の至る所にあります。温泉を生活の一部として楽しむことのできる最高の贅沢を味わいませんか。

●四季折々の自然に囲まれた子育て環境



自然に囲まれ、年間を通して比較的温暖な気候の中で、のびのびと子育てしてみませんか? 待機児童もなく、高校卒業まで医療費の助成や、対象地区に転居した子育て世帯に家賃の一部補助のほか、新鮮な食材による食育など、子育て環境も充実しています

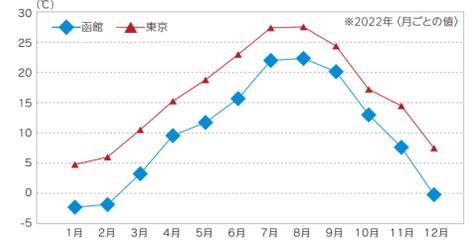
●函館グルメ



函館は自然の恵みを受けた海の幸や山の幸の宝庫です。イカはもちろん、ガコメ昆布、津軽海峡マグロ、根ボツケ、タコなど近海物の美味しい海鮮丼や握り寿司が、居酒屋や回転ずしでも食べることができます。魚介類のほかにも、塩ラーメンや函館スイーツも絶品。

北海道の南部に位置する函館は、降雪量も少なく、1年を通して過ごしやすい気候で、四季折々の自然に囲まれた生活を楽しむことができます。

面積	677.87km ² (R4.10)
人口	244,431人(R4.12)
世帯数	140,081世帯(R4.12)
気象	平均気温10.3℃ 最高気温 30.7℃ 最低気温 -13.1℃ 最深積雪 44cm 雪日数 109日



■函館公園



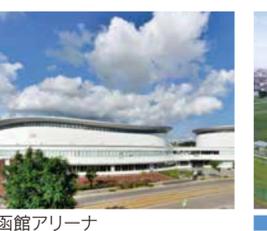
■五稜郭公園



■見晴公園



■函館市芸術ホール



■函館アリーナ



■フットボールパーク

主な公園

明治12年(1879年)開園の函館公園や、箱館戦争の舞台ともなった特別史跡である五稜郭公園、名勝旧岩船氏庭園を有する見晴公園のほか、特色豊かな公園が多数あり、市民はもとより多くの観光客が訪れる憩いの場となっています。春には、さくらが満開となり、秋には鮮やかな紅葉など四季折々の風景を楽しむことができます。

我が国最初の国際貿易港のひとつとして開港した函館は、海外文化の影響を受け、地域独自の文化を育み、自主的な文化芸術活動が展開されています。また、多くのスポーツ施設や文化芸術施設もありますので、いつでも気軽に、スポーツ・レクリエーション活動や文化芸術活動に親しむことができます。

主な芸術 スポーツ 施設

海辺で暮らす

新鮮な魚貝類が大好きで、海の近くに住んで気軽に釣りやマリンスポーツ、クルージングを楽しみたいという方に。



函館市は日本海と太平洋にはさまれた渡島半島の南部に位置し、三方を海に囲まれ海岸線は約120kmにもおよびます。「イカのまち」として全国的に有名ですが、戸井地区の活マダコは同じ津軽海峡で水揚げされる大間マダコと並び高い評価を得ており、このほかにもサケ、ブリ、マダラ、ゴッコ（ホテイウオ）、ウニ、アワビ、ナマコなど、年間を通じて様々な魚介類が水揚げされる全国でも有数の水産都市です。

また、近年、世界的な食ブームやヴィーガン食材として、さらにはブルーカーボンの吸収源としてコンブが注目を集めています。函館市は日本一のコンブのまちであり、特に函館沿岸で水揚げされるコンブは高品質な出汁がとれることで知られており、「函館真昆布」としてブランド化されています。



LIFE STYLE

農業は難しいけど、土に触れたり、家庭菜園をやってみてみたいという方に



亀尾ふれあいの里

- 開園期間 4月20日～11月10日
- 開園時間 市民農園 日の出～日没
体験農園 午前9時～午後5時
果樹園 午前9時～午後5時
その他 午前9時～午後5時
- 利用料金 市民農園 1区画 年間5,000円
体験農園 (一連農業体験) 1作物 年間 400円(小人200円)
1回 600円(小人300円)
果樹園 (収穫体験) 1回 400円(小人200円)
- 主な施設 市民農園 80区画(1区画25㎡)
体験農園 種まきや田植えから収穫までの一連した農作業を3～4回体験し、収穫した作物は規定量持ち帰りができます。
果物の収穫を体験することができます。
果樹園 ビオトープ1箇所、多目的広場、駐車場(162台分)、水飲み場、ベンチ、四阿、管理棟、農機具倉庫ほか

農業に親しむ

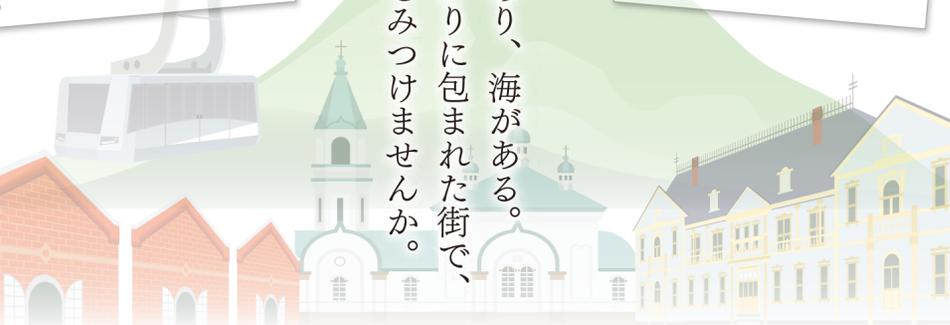
美しい自然に囲まれた街『函館』

日本で最初の国際貿易港のひとつとして開港した港町函館は、いち早く諸外国の様々な文化を取り入れ、異国情緒あふれる街並みを形成しています。住む人も訪れる人もすべての人にとって魅力的なまちづくりを進めています。

函館には山があり、海がある。四季折々のひかりに包まれた街で、安らぎの場所をみつけませんか。

賑わいのまち

四季を通じて繰り広げられる多彩なイベントに心が弾みます。中でも函館最大の夏祭り「函館港祭り」では参加者が街を練り歩くパレードで名物「いか踊り」が祭りを盛り上げます。



春

桜色に染まる。

- 函館西部地区バル街(春、秋)
- 夜桜ライトアップ
- 箱館五稜郭祭
- 恵山つつじまつり
- 南かやべひろろめ舟祭り
- はこだて花と緑のフェスティバル
- 函館マラソン

夏

海と空に溶け込む。

- 市民創作函館野外劇
- 函館港花火大会
- 函館港まつり
- 湯の川温泉花火大会
- 路面電車感謝祭
- はこだて国際科学祭
- はこだて国際民俗芸術祭
- 函館マリノフェスティバル
- 黒船サーカス

函館の四季

秋

紅葉に色づく街。

- はこだてグルメサカス
- はこだて・エコフェスタ
- 函館エアポートフェスタ
- はこだてMOMI-G(もみじ)フェスタ
- はこだてカルチャーナイト
- はこだてスイーツフェスタ
- 函館市民文化祭

冬

ロマンチックな光に包まれて。

- はこだてクリスマスファンタジー
- はこだて冬フェスティバル
- 五稜星の夢
- 函館港イルミネーション映画祭
- 恵山ごっこまつり



函館港まつり

箱館五稜郭祭

花火大会

はこだてMOMI-G(もみじ)フェスタ

はこだてクリスマスファンタジー

●歴史・文化とのふれあい

北海道の文化の発祥の地である道南の中枢都市函館には、民営や公営の博物館施設が多数あり、多くの歴史や文化に触れることができます。令和3年7月には垣の島遺跡と大船遺跡が北海道・北東北の縄文遺跡群の1つとして世界遺産に登録されました。



- 市立函館博物館 縄文時代から現代までの函館の歴史を知る
- 旧イリス洋行(歴史記念館) 函館開港の歴史と西欧文化に触れる
- 箱館高田屋敷兵衛資料館 箱館発展の恩人 豪商「高田屋敷兵衛」を知る
- 箱館開港150周年記念館(歴史博物館) 明治期の函館の商家と街並みを感じ
- 文学館 函館の作家(田村、亀井、藤村)の自筆資料を展示
- 北方民族資料館 アイヌ民族の北方民族資料や考古資料を展示
- 箱館奉行所 江戸幕府の役所を再現し古文書資料を鑑賞
- 北海道立函館美術館 道南地域にゆかりの深い美術作品を常設展示
- 北洋資料館 江戸時代以降の箱館・樺太島の漁業について歴史資料を展示
- 中央図書館 道南地域最大の図書館 郷土資料も充実
- 青函連絡船記念館摩周丸 青函連絡船を活用した博物館
- 縄文文化交流センター 国宝「中空土偶」を常時展示する博物館
- 垣の島遺跡・大船遺跡 世界遺産に登録された貴重な文化遺産
- 熱帯植物園 熱帯植物と温泉に入るのを見ることが出来ます



箱館奉行所

青函連絡船記念館摩周丸

熱帯植物園

縄文文化交流センター

平成19年6月に指定された中空土偶。昭和50年8月に、旧南茅部町の善保内野(ちよほないの)で畑仕事をしていた地元の主婦が、畝が当たったものを掘り起こしたら、人の顔をした焼き物がでて、大変驚いたそうです。約3,200年前の縄文後期の作と推定されているこの土偶は、「茅空(カクウ)」と名付けられ、今では当地区を代表する遺物として、広く知られています。

移住のお手伝い

移住サポートセンター

移住サポートセンターでは、函館市の相談窓口(ワンストップ窓口)として、函館市への移住を検討している方の相談や問い合わせなどに対応しています。また、函館に移り住んだ後も暮らしをサポートしています。函館生活がより快適で、より豊かになるような情報(買い物や医療機関、交通機関など)を発信しているほか、交流会などを開催しています。

まちセン茶論

函館に移住された方々と市民との交流・情報交換の場を設けています。誰でも自由に参加できる交流会・サロンです。函館を知る、仲間をつくる、地域に参加するきっかけづくりとして開催しています。

函館市への移住相談窓口

▶移住サポートセンター(函館市地域交流まちづくりセンター内)
電話/0138-22-9700(9:00～21:00)
メール(info@hakomachi.com)でのお問い合わせやオンラインでのご相談(オンライン会議アプリ「Zoom」を利用)など、いろいろなお方法でご相談ができます。お気軽にお問い合わせください。
URL: <https://hakomachi.com/iju-support/>

首都圏における函館市情報展示パネルブースの開設

移住検討者向けのパンフレットのほか、函館市のさまざまな情報を展示した「展示パネルブース」を、東京交通会館内ふるさと回帰支援センターに開設していますので、ぜひご利用下さい。
所在地/東京千代田区有楽町2-10-1
東京交通会館8F
電話/03-6273-4401 10:00～18:00
火曜～日曜(月・祝・定休)
URL: <https://www.furusatokaiki.net/>

暮らしに関する助成・相談窓口

仕事に関する支援

【函館しごとネット】

函館市が運営する函館の仕事に関するポータルサイトです。無料職業紹介所として「函館市UIJターン相談コーナー」を設置して、UIJターン希望者の仕事探しをサポートするほか、函館市内の在住者向けの求人情報を掲載しています。
URL: <https://hakodate-job.net/>
▶窓口 函館市経済部雇用労政課
電話/0138-21-3309

【創業バックアップ助成金】

市内に事業拠点を持って起業化に取り組む事業計画のうち、優れた事業計画に対し、事業実施にかかる費用の一部を助成します。
URL: <https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/20180307000207/>
▶窓口 函館市経済部工業振興課
電話/0138-21-3316

住まいに関する支援

【ヤングファミリー住まいりんぐ支援事業】

対象地区(西部地区・中央部地区)に転入してきた子育て世帯の方に家賃の一部を補助します。
▶対象地区(町名)
対象となる町名についてはHPをご覧ください。
▶補助要件
・中学校卒業前のお子さんがある世帯(所得制限あり)
・対象地区外に1年以上居住し対象地区内の民間賃貸住宅に転居して1年以上
▶補助月額、補助期間、その他の要件等についてはHPをご覧ください。
URL: <https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2014020500059/>
▶窓口 函館市都市建設部住宅課
電話/0138-21-3385

【公営住宅等のご案内】

函館市営住宅、函館市営特定公営賃貸住宅、北海道営住宅、UR賃貸住宅の募集をご案内しています。
URL: https://www.hakodate-jts-kosya.jp/housing_work/housing/information/
▶窓口 (一財)函館市住宅都市施設公社
電話/0138-30-3122

【空家に関する相談】

URL: <https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2017030600016/>
▶窓口 函館市都市建設部都市整備課
電話/0138-21-3358

活 動的な暮らし

市民活動

函館には、多くのNPO団体などが様々な分野で積極的に活動しています。これまでの経験・知識を生かして福祉や街づくりなどの市民活動やボランティアに携わってみませんか?

函館の市民活動団体

市内の市民活動団体の分野別団体数です。さらには、これらの団体や個人などの活動を支援し、交流・連携を促進する団体として「NPOサポート」はこどもでも活動しています。

- 健康や福祉の増進を図る活動 69団体
 - まちづくりの推進を図る活動 41団体
 - 文化・芸術、スポーツの振興を図る活動 51団体
 - 子どもの健全育成に関する活動 34団体
 - 環境の保全を図る活動 14団体
 - その他の活動 72団体
- (R5.2末)

函館市地域交流まちづくりセンター

函館市地域交流まちづくりセンターでは、市民交流やNPOなどの市民活動の支援、観光案内をはじめ地域情報の発信を通じ、函館地域のコミュニケーションやまちづくり活動をサポートしています。市民活動やNPOについて相談したい方、打ち合わせ場所がほしい方、研修会や展示会場を探している方、市民活動やNPOの会報やチラシを作りたい方、観光情報や地域情報が欲しい方などにご利用いただけます。



市民活動やボランティアを始めるには...

自分の得意分野や、活動できる時間帯、興味のあること等を考慮して、実際にその活動を行っている人や団体から詳しい説明を聞くことが大切です。地域交流まちづくりセンターの市民・活動情報などを活用して、自分にあった活動を始めましょう。



子 育て応援

子育てに関する支援

- 函館市では、妊娠、出産期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行っています。
- ▶子ども・子育て情報リンク集「はこすく」
函館市の子ども・子育てに関するさまざまな行政サービスや施設等の情報を目的別にまとめています。
URL: <https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2015122400025/>
 - ▶主な相談窓口
・マザーズ・サポート・ステーション
電話/0138-32-1565
・ひとり親家庭サポート・ステーション
電話/0138-21-3193 0138-86-7100
・子どもなんでも相談110番
電話/0138-32-3192
子ども専用電話/0800-800-0879
 - ▶主な子どもの居場所(R5.1)
・放課後児童クラブ 68か所
・放課後子ども教室 市内小学校10校
・児童館 23か所
 - ▶遊び場
・函館公園 ・道南四季の杜公園 ・梁川交通公園
・はこだてみらい館 ・はこだてキッズプラザ 等

函館で生活体験してみませんか?

生活体験ちよっと暮らしの函館
函館に移り住むにしても、観光とは違う目線でこの街を見て知ることが必要です。長期滞在可能なプランを用意しています。詳しくはHPをご覧ください。
<https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2022071800011/>

メールマガジン 『移住サポートセンターニュース』

これから移住を検討されている方や函館に移り住んだ方などにも役立つ、函館の様々な情報をメールマガジンでお届けします。詳しくはHPをご覧ください。
<https://hakomachi.com/iju-support/magazineform/>

